

令和 6 年度
第 3 回 苫小牧市航空機騒音対策協議会
会議録

令和 6 年 1 1 月 2 2 日（金）

午後 6 時 3 0 分

J F E リサイクルプラザ苫小牧 2 階会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 会長挨拶

3 部長挨拶

4 議 題

(1) 報告事項

ア 米軍再編に伴う米軍機訓練移転について

① 「米軍再編に係る三沢飛行場から千歳基地への訓練移転及び

令和6年度日米共同統合演習（実動演習）」に関する報告について 【資料 1】

イ 日独西共同訓練及び日独共同訓練の実施結果について 【資料 2】

ウ 航空機事故関連について

① 令和6年度（上半期）航空機部品等落下事案について 【資料 3】

エ 令和6年度要望活動結果について 【資料 4】

オ 新千歳空港における最近の動向について

① 令和6年度上半期新千歳空港における民航機の引き返し及び

目的地外空港への着陸について 【資料 5】

(2) 協議事項

ア 令和6・7年度再編関連訓練移転等交付金事業（案）について 【資料 6】

5 その他

○ 協議会委員 ※敬称略

出席者 (15名)

副会長	松重 茂雄	委 員	千葉 英明	委 員	星野 岳夫
〃	三海 幸彦	〃	川上 光博	〃	竹田 秀泰
委 員	丹治 秀寛	〃	越川 慶一	〃	松井 良明
〃	齋藤 謙吉	〃	山端 豊城	〃	牧田 俊之
〃	多田 嘉弘	〃	工藤 幾子	〃	米谷 一夫

欠席者 (6名)

会 長	丹羽 秀則	委 員	長井 和宏	委 員	久保 智揮
委 員	丹治 有貴	〃	荒木 孝司	〃	永谷 俊文

○ 事務局 出席者 (10名)

総合政策部	部長	町田 雅人	環境衛生部	部長	石黒 幸人
まちづくり推進室	室長	神保 英士	ゼロカーボン推進室	室長	櫻井 理博
空港政策課	課長	伊藤 貴文	〃	副主幹	齋藤 和之
〃	主査	佐藤 隼也	〃	技師	田中 恵実香
〃	〃	仲林 はつみ			
〃	〃	木村 賀津彦			

令和6年度 第3回苫小牧市航空機騒音対策協議会 会議録

1 開会

◇事務局

皆様お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

定刻となりましたので、只今から令和6年度第3回苫小牧市航空機騒音対策協議会を開催いたします。

私は、事務局を担当しております空港政策課の伊藤です。よろしくお願いいたします。

はじめに、本日は丹羽会長が欠席されておりますことから、規約に基づきまして、松重副会長に議長を務めていただきます。

2 会長挨拶

◇事務局

それでは、開催にあたりまして、松重副会長からご挨拶をいただきます。よろしくお願いいたします。

◆副会長

皆様お晩でございます。副会長の松重でございます。

本日はお忙しい中、10月の開催に引き続き、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

先ほど、事務局からありましたとおり、丹羽会長が欠席となりますので、職務代理を務めさせていただきます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

今週に入りましてから、苫小牧でも最低気温がマイナスになりはじめ、朝晩冷え込む日が続いており、天気予報を見ますと道内は雪だるまのマークが付きはじめております。

季節の変わり目ですので、皆様、どうぞ体調を崩しませぬようお過ごしいただきたいと思います。

さて、本日はご案内にありますように、訓練や要望活動の結果などの各種報告事項や協議事項など、盛りだくさんでございますので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。

◇事務局

ありがとうございました。

続きまして、町田総合政策部長からご挨拶申し上げます。

3 部長挨拶

◇総合政策部長

皆様こんばんは。

総合政策部長の町田でございます。

本日は大変お忙しい中、また夜分にもかかわらず、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

皆様におかれましては、日頃より市政の推進、並びに新千歳空港や千歳飛行場を巡る様々な課題に対しまして、特段なるご協力をいただいておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

皆様、ご承知のとおり、岩倉市長が11月5日で市長職を退任いたしました。

来月8日には、市長選挙が行われ、新たな市長が就任する予定となっております。新しい市長とともに、この協議会にもしっかりと対応していきたいと考えてございます。

後ほど、報告事項の中でご説明いたしますが、10月21日～11月1日まで行われました「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転及び令和6年度日米共同統合演習」につきましては、訓練に関する事件・事故はなく、無事終了しております。

また、本日はこの他、7月に実施された「日独西共同訓練及び日独共同訓練の結果」、9月から10月に実施いたしました「要望活動の結果」などに関するご報告と、協議事項といたしまして、「再編関連訓練移転等交付金事業」につきまして、ご協議させていただきたいと考えております。

委員の皆様には大変ご苦勞をお掛けいたしますが、よろしくお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

◇事務局

この後につきましては、座って進めさせていただきます。

続きまして、事務連絡といたしまして、丹羽会長、丹治有貴委員、荒木委員、長井委員、久保委員、永谷委員から本日所用のため欠席との連絡を受けております。

次に、資料の確認でございますが、資料1から資料6を事前に配布させていただいております。

本日ご持参いただいていない方は、お知らせ願います。

また、本日追加資料を1部、机上に配布させていただいております。

こちらも後ほどご説明させていただきます。

それでは、これからの議事進行につきましては、規約に基づき松重副会長が議長として進めていただきます。

なお、議事録作成の関係上、発言に際しましてはマイクのご使用をお願いいたします。

また、マイク使用後はスイッチをお切りくださいますようお願いいたします。

それでは、松重副会長、よろしくお願いいたします。

4 議題

◆副会長

それでは、早速ですが、議事に入らせていただきます。

座ったままで失礼させていただきます。

報告事項については、アからオをそれぞれ分けて説明し、その都度、ご質問ご意見をお受けしたいと思います。

それでは（１）報告事項アについて、事務局から説明をお願いします。

◇事務局

空港政策課の佐藤と申します。

このあとは座って説明させていただきます。よろしくお願いいたします。

報告事項ア「米軍再編に伴う米軍機訓練移転」についての①「米軍再編に係る三沢飛行場から千歳基地への訓練移転及び令和６年度日米共同統合演習（実働演習）」に関する報告につきまして、１ページの資料１をご覧ください。

こちらは、事前に参考資料として送付させていただきました中間報告書の一部を抜粋したもので、本日はこちらに沿ってご説明させていただきます。

また、中間報告書につきましては、本日いただいたご意見等を追加し、最終報告書として取りまとめる予定となっております。

それでは説明に入らせていただきます。

上段の訓練期間につきましては、１０月２１日から１１月１日まで、訓練回数につきましては、戦闘機戦闘訓練が１９回実施されております。

一番下の参加規模につきましては、米軍が、三沢基地所属のＦ－１６が１２機、人員約１８０名、自衛隊は千歳基地所属のＦ－１５が１６機の参加となっております。

次に、２ページをご覧ください。

下から２段目の「米軍人の外出」でございますが、こちらにつきましては、特段トラブル等もございませんでした。

訓練全体を通して、事件・事故はなく、無事終了しております。

続きまして、３ページをご覧ください。

こちらは、「訓練期間中の苦情・問い合わせ結果等について」ですが、本市においては騒音苦情が１件ございました。

続いて、４ページにつきまして、説明員を交代させていただきます。

◇事務局

ゼロカーボン推進室の田中です。座って説明をさせていただきます。

私からは、4 ページからの「訓練移転に伴う騒音測定結果について」を説明させていただきます。

5 ページをお願いいたします。

訓練移転に伴う騒音測定地点につきましては、苫小牧市、北海道、北海道防衛局の常時監視測定局及び臨時測定地点、合わせて計 22 地点で測定を行いました。

次に、6 ページの「騒音測定結果」でございますが、こちらには各測定局の訓練期間中の最高値を米軍機、自衛隊機別に掲載しております。

訓練期間中の最高値は、米軍機の F-16 が沼ノ端東雲局で観測しました 95.9 dB でございました。

また、自衛隊機は清流公園局で観測されました 94.8 dB が最高値でございました。

なお、F-16 の最高値につきましては、航空自衛隊第 2 航空団に対して、他基地所属の航空機にも、騒音に配慮した飛行を行うよう申し入れております。

次に、7 ページ目をお願いいたします。

こちらは訓練期間中の日ごとの Lden 値を範囲で示したのですが、こちらの値は自衛隊機と民航機を合わせた値となっております。右側には令和 5 年度 1 年間の Lden 日最大値を示しております。

訓練期間中で最も大きかった値は、丹治沼、ウトナイ、湖畔局の 61 dB ですが、各局ごとに比較しましても、昨年度の Lden 日最大値と同程度の結果となっております。

最後に 8 ページでございますが、以上の結果を踏まえ、「今回の訓練移転における騒音につきましては、Lden 値は第 2 航空団が行っている通常訓練の範囲内であった」という評価でございました。

◇事務局

最後に本日、机上に配布させていただきました報告事項アの追加資料、こちら 1 枚ものの資料をご覧ください。

こちらにつきまして、事前に資料を郵送させていただいた後に、防衛省から通知のありました岩国飛行場から三沢基地への訓練移転の計画概要であり、内容は記載のとおりとなっておりますので、ご確認いただければと思います。

報告事項アの説明は、以上でございます。

◆副会長

ただいま説明のありました、報告事項アについて、ご質問ご意見等をお受けいたします。

何かございませんか。ご質問ご意見ございませんか。

なければ次に進みますが、よろしいでしょうか。

(※質問なし)

続いて、報告事項イについて、事務局から説明をお願いします。

◇事務局

続きまして、報告事項イ「日独西共同訓練及び日独共同訓練の実施結果」につきまして、ご説明いたします。

9 ページの資料 2 をご覧願います。

はじめに、1 の訓練期間につきましては、日独西共同訓練は、7 月 19 日から 20 日、日独共同訓練は 7 月 22 日から 25 日まで行われております。

次に、2 の参加規模につきまして、(1) 日独西共同訓練は、航空自衛隊の F-15 をはじめ、ドイツからはユーロファイター戦闘機や輸送機など、人員約 180 名、スペインからは約 150 名が参加しております。

(2) 日独共同訓練につきましても同様に、航空自衛隊の F-15 をはじめ、ドイツのユーロファイター戦闘機や輸送機など、人員約 80 名が参加しております。

次に、3 の訓練回数につきまして、(1) 日独西共同訓練は、7 月 19 日の 1 回、(2) 日独共同訓練は、7 月 22 日から 25 日までの期間で 6 回の訓練を実施しております。

次に、4 の騒音測定結果につきましては、これらの訓練における、苫小牧市測定分の最高測定値を記載しております。航空自衛隊 F-15 の最高値が 87.0 dB、ドイツのユーロファイターが 87.9 dB、スペインのユーロファイターが 85.9 dB となっており、これらの数値につきましては、第 2 航空団が行っている通常訓練の範囲内でございました。

次に、5 の市民からの問い合わせにつきましては、飛行経路の内容で 1 件ございました。

次に、6 の独及び西軍人の行動ですが、千歳市と長沼町に宿泊しており、外出はしていたものの、苦情やトラブル等はございませんでした。

次に、7 の市の対応につきましては、部長会議での情報共有、確認をはじめ、市議会議員様や各関係機関、航路下住民様への周知の他、北海道防衛局と航空自衛隊千歳基地に対し、申入れを行っております。

最後に、8 の結果につきましては、千歳基地において、日本、ドイツ、スペインとの初の共同訓練となりましたが、事件・事故もなく無事に終了しております。

報告事項イの説明は、以上でございます。

◆副会長

ただいま説明のありました、報告事項イについて、ご質問ご意見等をお受けしたいと思えます。

ご質問、ご意見ございませんか。

(※質問なし)

続いて、報告事項ウについて、事務局から説明をお願いします。

◇事務局

報告事項ウの「令和6年度（上半期）航空機部品等落下について」ご説明いたします。

10ページの資料3をご覧ください。

こちらは、本年10月22日に千歳基地から通知されたものでございまして、本年4月から9月までの千歳基地における部品等落下事案は5件ございました。

はじめに、1件目につきまして、発生日は「4月16日」、機種は「F-15J」、落下部品は「アンテナレドームの一部」となっておりまして、11ページに写真を掲載しておりますが、こちらは電波を発信するためのアンテナを保護するためのカバーの一部でございます。

続いて、2件目につきまして、発生日は「6月17日」、機種は「F-15DJ」、落下部品は「コッターピン」で、12ページに写真を掲載しておりますが、こちらはボルトとナットを固定するピンでございます。

次に、3件目につきまして、発生日は「6月18日」、機種は「F-15J」、落下部品は「アンテナレドームの一部」で、13ページに写真を掲載しておりますが、こちらは電波を発信するためのアンテナを保護するためのカバーの一部でございます。

次に、4件目につきまして、発生日は「8月6日」、機種は「F-15J」、落下部品は「リベット」で、14ページに写真を掲載しておりますが、こちらはホイールブレーキの遮熱板を固定するものでございます。

最後、5件目につきまして、発生日は「9月2日」、機種は「F-15J」、落下部品は「アップストップダンパー」で、15ページに写真を掲載しておりますが、こちらはタイヤを格納する際のゴム製の緩衝材でございます。

第2航空団の説明によりますと、5件とも着陸後の点検で紛失が判明しておりまして、飛行中に落下したと想定しておりますが、現在のところ被害の報告はないと伺っております。

また、今後の改善策としまして、飛行前後の点検等において、入念かつ確実な点検に努めてまいりたいとのことでございます。

この度の部品落下事案を受けまして、本市では第2航空団に対し、同型装備品の整備及び管理の徹底を行うとともに、事故の原因究明及び再発防止策を速やかに行うことなどを、強く申し入れております。

報告事項ウの説明は、以上になります。

◆副会長

ただいま説明のありました、報告事項ウについて、ご質問ご意見等をお受けいたします。A委員。

◆A委員

ちょっとお伺いしたいのですが、5番のゴム製の部品については非常に重さがあると思うのですけれども、39グラムと。

これが真上から落ちてくると、形状がちょっとわからないのが、普通、一般的には怪我をするのではないかと思うのですけれども。

今まででしたら、1グラムとか2グラムとか、こういう小さいものだとは認識しています。

今回だけ39グラムと非常に大きいという認識をしていますけれども、この件に関して、市としてどう対応しているのかお伺いをしたいと思います。

◆副会長

事務局、お願いいたします。

◇事務局

お尋ねの5番目の部品につきましては、アップストップダンパーと呼ばれるものでございます。先ほども説明がありましたけれども、タイヤを格納する際のゴム製の緩衝材ということで、39グラムとなっております。

39グラムと言いますと、身近なもので言いますと、ピーマン1個相当分、あとSサイズのたまご1個分となっております。

繰り返し起きる航空機の部品落下につきましては、どのような部品、重さであれ、空から落下してくるものは、危険なものと認識しております。

市としましては、先ほども報告をしましたように、第2航空団に対しまして、航空機の整備、点検の強化を図ることを強く求めています。

あとから報告がありますが、要望活動の際にも私からこういった部品の落下はなくなるのかというようなお話もさせていただいております。

いずれにしても、大変危険な事案ですので、今後におきましても早期の原因究明、あるいは実効性のある再発防止策の構築などについて、市としましては粘り強く、北海道防衛局や第2航空団に求めてまいりたいと考えてございます。

以上です。

◆A委員

やはりこの39グラムは、非常に重さがある。たまごS、1個分となると、上から落

ちてきたときにかかなりの衝撃があり、怪我をする可能性があると思うのです。

やはりその辺はしっかりと市で対応いただきたい、新たに文書を出すとか、こういうことを考えていかないと今までとやはり違うと私は思うのですけれども、その辺はどうでしょうか。

◇事務局

先ほど申し上げましたとおり、その都度申入れをしており、今後も対応していくことになると思います。

過去にはもっと重い部品も落下しており、その都度文書や口頭で対応しておりますので、今後もあらゆる機会を捉えて、伝えてまいりたいと考えております。

以上でございます。

◆副会長

他にございませんか。

なければ、続いて報告事項エに移りたいと思いますけれども、よろしいでしょうか。

(※質問なし)

続いて、報告事項エについて、事務局から説明をお願いいたします。

◇事務局

報告事項エの「令和6年度要望活動結果」につきまして、16ページの資料4に基づきご説明いたします。

こちらにつきましては、本日の資料と一緒に送付させていただきました「要望活動報告書」の一部を抜粋してまとめたものでございまして、本日はこちらに沿ってご説明させていただきます。

それでは説明に入らせていただきます。はじめに17ページをご覧ください。

今年度の要望活動につきましては、9月19日に札幌・千歳、10月3日、4日に東京におきまして、国土交通省及び防衛省などの関係機関並びに地元選出国會議員に対し実施しております。

札幌・千歳には、松重、三海両副会長をはじめ委員6名、東京には5名にご参加をいただいております。

ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

日程の詳細につきましては、18ページに記載のとおりとなっております。

次に、要望先につきましては、19ページから20ページをご覧ください。

こちらに記載の國會議員、国土交通省、防衛省及び北海道エアポート(株)の関係各位に要望書を提出しております。

要望先での対応者につきましては、21ページのとおりとなっております。

また今回の東京要望では、橋本聖子参議院議員にご同行いただきまして、防衛省の航空幕僚監部に直接要望書を手渡し、意見交換を行っております。

次に、要望書につきましては、22ページから28ページのとおりでございます。

続いて、29ページ、こちら国土交通省及び北海道エアポート(株)の回答要旨でございますが、要望事項1の「飛行コースの遵守」につきましては、国土交通省からは「空港運営会社や管制機関と連携して、航空会社に対する指導や監督を適切に実施してまいりたい」との回答でございます。

続いて、要望事項2の「運航自粛時間における飛行」につきまして、国土交通省からは「航空会社に対し、遅延便の減少に向けた取組を継続して要請してまいりたい」との回答でございます。

続いて、要望事項3の「低騒音機種への切替え及び外国貨物機の騒音軽減」につきましては、国土交通省からは「新規機材導入に係る税の減免措置による支援を行っておりまして、今後も低騒音機の導入を促していきたい」、「今後、外国貨物機の運航が計画された場合には、指導や監督を適切に実施していきたい」、また、北海道エアポート(株)からは「着陸料騒音課金の継続運用により、引き続き、切替えを促進していきたい」との回答でございます。

続いて、要望事項4の「航空機等の安全管理の徹底、また、航空機事故に関する情報提供」につきましては、国土交通省からは「安全運航の確保は最重要課題と認識している。今後とも、安全運航の確保に万全を期して、安全・安心に対する信頼を得られるように努めていきたい」との回答でございます。

次に、30ページをご覧ください。

要望事項5の「美沢川及び美々川等への環境対策」につきまして、北海道エアポート(株)からは「排水管理については、使用後の水質調査のモニタリングを実施し、周辺環境保全に最大限配慮して、万全な管理徹底に努めてまいりたい」との回答でございます。

続いて、要望事項6の「北海道エアポート(株)の支援と新千歳空港における安全対策等の維持・強化」につきまして、国土交通省からは「コロナ禍の長期化や航空需要の大幅な減少により、大変厳しい状況に直面していたと承知している。引き続き、安全対策等の維持、強化を継続するため、安定的な運営が可能となるよう対応していきたい」との回答でございます。

続いて、31ページをご覧ください。

防衛省の回答要旨でございますが、要望事項1の「市街地上空の低空飛行」につきまして、第2航空団からは「飛行訓練については、航空法を遵守し実施しており、他基地から来たパイロットに対しても同様に教育指導を実施している。今後も安全飛行を念頭に置きつつ、市街地上空の低空飛行を避けるよう努めていく」との回答でございます。

次に、要望事項2の「通常訓練の離着陸コース」につきまして、第2航空団からは「可能な限り市街地上空を避けるよう飛行するが、天候等の状況により、安全確保のため、雲

を避ける飛行をする場合があることもご理解いただきたい」との回答でございます。

次に、要望事項３の「運航自粛時間における飛行」につきまして、第２航空団からは「深夜早朝の飛行訓練は原則として実施しないこととしているが、緊急発進や災害派遣等により、飛行する場合があることをご理解いただきたい」との回答でございます。

次に、３２ページをご覧ください。

要望事項４の「土日祝日の飛行」につきまして、第２航空団からは「通常の飛行訓練は計画していないが、上級部隊が計画する演習等については、飛行する場合があるので、ご理解いただきたい」との回答でございます。

次に、要望事項５の「自衛隊機等の安全管理の徹底、また、自衛隊機事故に関する情報提供」でございますが、第２航空団からは「平素より、定期的な整備、飛行前後の点検等を実施しており、引き続き、安全確保に努めたい。万が一、事故等が発生した場合は、苫小牧市を含む関係自治体への速やかな情報提供に努めたい」との回答でございます。

続きまして、要望事項には載せておりませんが、沖縄の負担軽減について伺っておりまして、北海道防衛局からは「今後とも米軍に対し、嘉手納飛行場における騒音軽減がより一層図られるよう協力を求めるとともに、沖縄の負担軽減に努めたい」とのことでございます。

続きまして、３３ページをご覧ください。

こちら、要望事項には載せておりませんが、再編関連訓練移転等交付金の今後について伺っており、北海道防衛局からは「交付金は平成２９年から令和８年度までの１０年間の時限措置という形で創設したものである。いずれにしても、令和７年度も所要額の確保に努めてまいりたい」との回答でございます。

続きまして、３４ページをご覧ください。

防衛省の住宅防音助成に関することでございますが、北海道防衛局からは「これまでのところ、対象区域を拡大するような状況ではないことをご理解いただきたい」との回答でございます。

次の３５ページから３９ページまでは、要望活動の際の主な質問に対する回答をまとめたものでございますので、後ほどご参照願います。

以上が、要望結果となっておりますが、今回の要望活動につきましては、騒音の実態や飛行高度、新千歳空港を取り巻く状況などにつきまして、地域の考えをしっかりと伝え、認識を共有することができたと感じております。

各要望項目につきましては、航空機の運用や騒音対策に関するものが多く、すぐに解決できる問題ではございませんが、今後におきましても粘り強く働きかけてまいりたいと考えております。

報告事項エの説明は、以上になります。

◆副会長

ただいま説明のありました報告事項エについて、ご質問ご意見等をお受けいたしたいと思っておりますけれども何かございませんか。

(※質問なし)

続いて報告事項オについて、事務局から説明をお願いします。

◇事務局

空港政策課の仲林と申します。よろしくお願いいたします。

座って説明させていただきます。

私からは、報告事項オ「令和6年度上半期新千歳空港における民航機の引き返し及び目的地外空港への着陸について」をご説明いたします。

40ページから42ページの資料5をご覧ください。

本年4月から9月までの合計件数は43件で、内訳につきましては、国内線では引き返しが34件、目的地外空港への着陸が4件、国際線では引き返しが0件、目的地外空港への着陸が5件でございました。

理由といたしましては、天候不良が全体の約8割を占めておりますが、その中でも8月7日に羽田空港周辺で発生しました雷雨の影響が大きく、新千歳から羽田へ向かう10便が引き返しとなっております。

説明は以上でございますが、これまでの内容からも天候不良の理由が多く、航空機自体には問題ないものが大半ですので、次回からは機材不具合などによる緊急着陸の事案についてのみ、ご報告させていただくことといたしますのでご了承願います。

私からは、以上でございます。

◆副会長

ただいま説明のありました、報告事項オについて、ご質問ご意見等をお受けしたいと思っております。

(※質問なし)

なければ、(1) 報告事項について、以上でよろしいでしょうか。

◆委員一同

(「はい。」という声あり)

◆副会長

それでは(2) 協議事項に移らせていただきます。

協議事項ア「令和6・7年度再編関連訓練移転等交付金事業(案)」について、事務局より説明をお願いします。

◇事務局

協議事項ア「令和6年度及び7年度再編関連訓練移転等交付金事業（案）」につきまして、資料6に基づき、ご説明いたします。

はじめに、43ページの令和6年度の予定事業（案）をご覧ください。

こちらのページにつきましては、昨年11月及び本年5月の本協議会におきましてご承認いただきました、現在実施中の事業のうち、網かけ部分の事業につきまして、入札等により交付金額に変更があったものでございますので、一括してご説明いたします。

はじめに、植苗・美沢地区の3段目になりますが、「植苗地区テレビ光ケーブル化事業（実施調査・設計）」につきましては、交付金額が410万円減の690万円となっております。こちらは、予算積算時において、人件費の上昇を見込んだ技術者単価にて算出していたことが、主な要因となっております。

次に、勇払地区の2段目「勇払総合福祉会館備品整備事業」につきましては、33万円減の97万円となっております。

同じく、4段目の「勇払公民館屋上避難実施設計業務」につきましては、新規事業となっております。勇払公民館屋上へ津波避難を可能とする整備について、今年実施設計を予定しております。交付金額は310万円となっております。

最後に、共通部分の「保健センター等医療機器整備事業」につきましては、各事業の入札差金等の最終調整弁としており、医療機器の購入を予定しております。

以上が、令和6年度の予定事業（案）でございます。これらの事業につきましてご承認いただけましたら、今後、早急に進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

続いて、裏面44ページをご覧ください。

こちらが、令和7年度の予定事業（案）となっております。

はじめに、植苗・美沢地区におきまして、「植苗地区テレビ光ケーブル化事業（工事）」につきましては、令和6年度に実施設計を行い、令和7年度及び8年度の2か年で工事を予定しております。交付金額は5,600万円となっております。

続いて、沼ノ端地区、1段目の「勇の原公園整備事業」につきましては、令和5年度に事前調査及び実施設計、令和6年度から10年度までの5か年で工事を予定しており、令和7年度の交付金額は4,300万円となっております。

続いて、2段目の「沼ノ端地区消火栓整備事業」につきましては、消防本部が2037年までに定めた市内の消火栓整備基準数を配置するために、今回は沼ノ端地区の拓勇東町、北栄町、ウトナイ北に消火栓を5か所整備するものであり、交付金額800万円となっております。

続いて、勇払公民館屋上避難施設整備事業につきましては、先ほど令和6年度事業で説明をさせていただきました実施設計業務の後、令和7年度は実際の工事を実施し、完成までを予定しております。交付金額で1,600万円を予定しております。

最後に共通でございますが、「保健センター等医療機器整備事業」を予定しており、入札差金等の最終調整弁としております。

令和7年度の再編関連訓練移転等交付金につきましては、資料の一番下の黒枠のとおり、1億2,300万円を見込んでおります。

以上が令和7年度の予定事業（案）でございます。

これらの事業につきまして、ご承認いただけましたら、今後進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

私からは、以上でございます。

◆副会長

ただいま説明のありました、協議事項アについて、ご質問ご意見等をお受けしたいと思います。はい、B委員。

◆B委員

令和6年、7年度の事業について、この最終差金で保健センターに使われているわけなのですが、この3地区共通には、何も予定はしていないのですか。この6年度もこの共通差金が10.1%もついているわけなのですね。

3地区共通というのは、これまで図書整備をやっていたかと思うのですが、そこら辺はどうなっているのでしょうか。3地区にまったく予算付けをしないで、この最終調整弁でやるというのは、どうもいかなものかなと思うのですが、そこら辺の説明をお願いします。

◆副会長

事務局、お願いいたします。

◇事務局

只今のご質問、昨年もこのような話があったと思いますけれども、3地区共通につきましては、先ほど委員がおっしゃられましたように、これまでは3地区の学校図書に充てておりました。

直近の図書の充足率は、交付金を使わせていただいたおかげで、各小学校・中学校、共に100%を超えておりまして、図書についてはしばらく購入する必要がない状況でございます。

その他の本棚ですとかは、図書整備の後に、この3地区共通項目の中で購入させていただいた経過がございます。

図書関係の情報で、現在、教育委員会では、機械で受付ができる設備を導入すべく、いろいろと調整しているところなのだと思いますけれども、まだ時間がかかっているところ

です。将来的にその整備を3地区共通でやらせていただきたいとは思っておりますが、今のところそういう状況ではございませんので、令和6年度、7年度はゼロになってございます。

その分、共通項目の中で、保健センターの整備事業ということで、整備をさせていただいております。

今年度の予定ですと、夜間急病センターでレントゲンの撮影装置が経年劣化、15年経過しているので、それを入れ替えたいというお話があり、また、保健センターについては、産婦人科の検診診療ユニット、これも経年劣化、耐用年数を経過しているので買い替えたいということで、合計で1,000万円ちょっとの交付金を充てて、購入予定でございます。以上です。

◆副会長

B委員、どうぞ。

◆B委員

もう一度言いますけれど、この交付金の基本的な使い道は航路下の3地区に使うのが、基本的な考えなのではないかと思えます。

ただ、今、伊藤課長の言われた保健センターのそういうものは、別に市の予算で買うことはできないわけじゃないはずなのです。そういうものがもう老朽化していて、そこを共通で使ってはいけないとは言わないけれども、基本的な考えから外れているのではないかと思います。

先ほどの、図書整備の話もあるわけですから、もう少し見直さないと。この航路下で、訓練や部品落下などいろんな事があって、この交付金の意味がご理解いただいていないのかなと感じているのです。そこら辺、この保健センターの事業は調整弁になっていませんよ、そういうものを買おうというのであれば。それであればもう、違う予算で予算化されたら良いのではないですか。以上です。

◆副会長

事務局お願いします。

◇事務局

委員おっしゃるとおり、再編関連訓練移転等交付金につきましては、航路下3地区、植苗・美沢地区、沼ノ端地区、勇払地区のための事業を割り当てているというのが基本の考えであります。

我々も、皆様方とお話をする中で、こういうものが今欲しいのですとかお声をいただいて、予定事業について皆様に今ご報告をしているわけですが。

かつては、中央図書館の図書や、市立病院の医療機器など、皆様も利用する市内中心部のもので、この共通の部分20%以内ということで、使わせていただいているところでございます。

我々としても、共通ありきで事業を組んでいるわけではなく、基本は3地区の事業のためにということをやらせていただいておりますが、どうしてもその年度で事業がない部分もあったり、その共通を使わなくてはならない部分も出てきてしまう状況もございます。今後も皆様とお話をさせていただき、航路下3地区のための事業を探しながら、この交付金を有効活用させていただきたいと思っておりますので、ぜひご理解をいただきたいと思っております。以上です。

◆副会長

B委員。

◆B委員

私は課長さんの今の答弁については、ちょっと理解できない。

それであれば、この沼ノ端地区の勇の原公園について、かなり延長して完成するようですけれども、そういうところに予算化をして、早く完成できるようにするとか、そういう考えがないのかなと。完成は令和10年予定ですか、けれども最初はもっと早く完成予定であったはずなのですね、この公園も。だからそういうところに予算化をするとか、やり方はまだまだ沢山あるのではないかと思いますのです。

貴重な財源ですから、やはり航路下の地域にもう少し、主力をおいて、予算化をされたら良いのかなと思って言います。以上です。

◆副会長

事務局お願いします。

◇事務局

共通の部分は勇の原公園整備事業や他の事業に充ててはどうだというお話がございました。確かに勇の原公園につきましては、現在5か年事業で今進めています。

大体交付金を約5,000万円ずつ充てているものですから、だいたい2億～3億弱くらいの交付金額になるかと思います。

初期の段階では3年で完成という話もございましたが、5年で完成という長いスパンとなり、皆様にはお待たせしてしまうのですけれども、そういった形で今、工事が進んでおります。この交付金以外にも、市の一般財源や、北海道エアポート(株)の助成金も活用して、整備を進めておりますので、ぜひご理解をいただきたいと思います。

◆副会長

今の説明でよろしいでしょうか。

◆B委員

(うなづく様子。)

◆副会長

ありがとうございます。

他にご質問、ご意見ございませんか。

それでは(2)協議事項について、以上のとおり承認することとしたいと思えますけれども、よろしいですか。

◆委員一同

(承認した様子。)

◆副会長

最後に「その他」として、事務局から何かありますか。

B委員。

◆B委員

素朴な質問なのですが、この千歳の航空祭のことです。今年の航空祭は9月開催だったので、以前は8月開催と大体決まっていた、その前は7月開催だったり。

この航空祭の訓練の時は、1週間前くらいから、天気によっては植苗付近もブルーインパルスが低空飛行で飛行しすごい音がする。

航空祭の開催日程について、現在どのような状況なのか。

◆副会長

事務局お願いします。

◇事務局

千歳基地の航空祭につきましては、例年、港まつりと日程が重なっていた部分がありまして、8月上旬の開催でした。それが7月下旬になり、今年につきましては、9月15日に開催しています。

今年につきましては、先ほど資料2でご報告しました日独西共同訓練が7月にあったため9月に変更したということ、第2航空団から伺っています。

おそらく来年は何もなければ、また元の形に戻るのではないかと推察しております。

以上です。

◆副会長

よろしいでしょうか。

◆B委員

(うなずく様子。)

◆副会長

他にございませんか。

なければ、報告事項と協議事項を承諾したということでよろしいですね。

◆委員一同

(賛同の様子。)

5 閉会

◆副会長

それでは、これを持ちまして、令和6年度第3回苫小牧市航空機騒音対策協議会を終了いたします。

皆様、大変お疲れ様でございました。

ありがとうございました。

－ 終 了 －